

2026年 7月 31日

横山 英幸 大阪市長
末村 祐子 天王寺区長

大阪市をよくする天王寺連絡会
代表 代理 平 嶋 正

日頃は、区民生活の向上と住みよい天王寺区のために尽力されておられることに敬意を表します。今後、さらに快適な生活と暮らしができるよう、下記のことを要望致します。

記

1、歩行者の安全、公共交通機関の拡充

- ① 歩行者が安全に歩行できるよう、勝山通り、玉造筋の歩道を計画より早期に拡張すること。当面、ガードレールの設置、電柱の移動を行うこと。
- ② 消えている道路の白線を引き直し、信号機を歩行者に安全な歩車分離方式や歩行者横断時間の延長などの改善を大阪府に進言すること。
- ③ 区内のオンデマンドバスの利用者が増えるように、敬老バス利用、隣接区との乗り換え割引など、運行を改善すること。
- ④ 自転車の通行にあたっては、歩行者優先を徹底したマナー啓発と、自動車の危険にならないような道路整備をおこなうこと。
- ⑤ 駅、商業施設付近での駐輪が歩行者に危険の無いように対処すること。

2、高齢者施策

- ① 特養ホームを増設すること。
- ② 老人福祉センターを、入浴設備を整えた多目的に使用できる施設に改善もしくは増設すること。
- ③ 老人憩いの家での、食事サービス・喫茶を拡充できるよう援助すること。
- ④ 地域の老人憩いの家を活用拡大できるように援助すること。
- ⑤ 高齢者見守り事業を拡充すること。
- ⑥ 緊急通報システムやGPS機器貸出など的高齢者施策事業を広く知らせること。

3、保健と医療の福祉事業

- ① 区保健福祉センターの役割を強化し、活動を拡充すること。
- ② 無料低額診療機関を増やすこと。
- ③ 特定健診、ガン健診率を向上させる抜本的な手立てを講ずること。

4、保育、教育

- ① 児童・生徒増による教室不足で特別教室が縮小されている学校があり、早急に増設すること。
- ② 保育所を増設し、待機・保留児童を解消すること。
- ③ 民間の学童保育への支援を拡充し、市立の学童保育所を設置すること。
- ④ 五条小学校、真田山小学校の大規模化を解消すること。
- ⑤ 不登校児童生徒数の居場所としての「なごみ」「スペシャルサポートルーム」を各学

校に拡充すること。

- ⑥ 子どもの医療費の窓口負担（一医療機関500円）をなくして無料にすること。
- ⑦ 子どもの虫歯治療率を向上させること。
- ⑧ 一人親家庭への援助、子どもへの虐待やヤングケアラーをなくす施策を講ずること。
- ⑨ 子ども子育てプラザ事業を拡充すること。
- ⑩ 無料か低額の学習塾を拡充すること。
- ⑪ 子ども食堂、フードバンクの事業を援助すること。

5、生活支援、都市計画

- ① 入居希望が多くて入れない状況を解消するため、市営住宅を増設すること。当面、空き家(政策空き家も含む)を減らして入居定員を増やすこと。
- ② 無計画な都市計画を止め、高層マンションの増設の認可は、慎重に行うこと。
- ③ マンションの増設については、学校・保育園・公園などの不足や過密化にならないように慎重に認可すること。高層マンションにあたっては、自家発電、水槽の設置などを付帯条件にして、災害時に強い住宅にすること。
- ④ 民泊は、近隣住民の合意と理解を条件に届出制でなく、許可制にすること。
- ⑤ 移動図書館を南方面にも設置すること。
- ⑥ 図書館など公共施設のトイレは洋式に改めること。

6、防災

- ① 自助や共助活動がスムーズに発揮できるよう行政として指導・助言・援助を行えるようにしておくこと。
- ② 行政の責任で、各地域での避難誘導、避難所開設、食料支援、インフラ回復などの諸策を講ずる防災計画を作成し、地域での防災訓練などを援助すること。
- ③ 区や地域で準備・確保している防災備品、備蓄物、福祉避難所、協力民間機関などの情報を区民・住民に広く知らせること。
- ④ 防災無線のスピーカーを増設すること。

7、環境保全

- ① 公園の樹木や街路樹の伐採、オンデマンドバス、マンション建設などの説明は、町会役員だけへの説明に留めず、区役所主導で地元住民への説明会を開くなど地元の理解を得て行うこと。
- ② カラスによるゴミ荒らしの対策を講じること。
- ③ 各公園にトイレや水道の設置を行うこと。

8、情報

- ① 広報紙を中心に、目に見える情報を発信すること。

以上